

## お客様本位の業務運営に関する取組状況

(2020年9月現在)

楽天投信投資顧問株式会社

### 1. お客様の取引目的やニーズに合うような商品をお届けするように取り組みました。

人生100年時代を見据えた自助努力がこれまで以上に重要視されるなか、引き続き資産形成に資する商品提供を継続しました。

これらに対応する商品開発においては自社の運用リソースにとらわれることなく、積極的に外部マネジャー等と協働し、投資家ニーズにあったベスト・プロダクトの提供に努めてきました。

- “楽天・米国レバレッジバランス・ファンド（愛称：USA360）”の立ち上げ  
レバレッジ投資手法を活用した、新しい米国投資を提案するファンドを設定しました。
- “楽天日本株 3.8 倍ベア”の立ち上げ  
レバレッジ型ブルベアファンド・シリーズに、騰落率 - 3.8 倍を目指すベア型を追加しました。
- “楽天・ポジティブ・インパクト株式ファンド”の立ち上げ  
スイスUBPの「ポジティブ・インパクト戦略」によるグローバル株式運用ファンドです。
- “楽天・新経連株価指数ファンド（愛称：JANE インデックス）”の立ち上げ  
新経済連盟（新経連）が、加盟する上場企業で独自開発した株価指数に連動するファンドです。
- “楽天・日本株マイクロキャップ・ファンド（愛称：スモールジャイアント）”の立ち上げ  
マイクロキャップ銘柄（原則、時価総額 500 億円以下）に厳選投資する日本株ファンドです。
- ファンドラップ向け商品の立ち上げ  
“楽天・グロス・ワールド株式ファンド(ラップ向け)”  
“楽天・USハイイールド社債インデックス(為替ヘッジ)ファンド(ラップ向け)”
- ベスト・プロダクトの組成  
当社は、新たにスイスUBPや仏コムジエスト・グループと協働でグローバル株式運用ファンドを組成しました。
- 受賞歴
  - ・投信ブロガーが選ぶ！ Fund of the Year 2019
    - 第6位（楽天・全米株式インデックス・ファンド）
    - 第16位（楽天・全世界株式インデックス・ファンド）
  - ・リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2020 ジャパン  
最優秀ファンド賞
    - 【投資信託部門】ミックスアセット 日本円 積極型（評価期間：5年）  
楽天みらいファンド

加えて、長らく続く国内の低金利環境のなか機関投資家等の運用ニーズに応えるため、当社では複数の私募投信による運用を継続して行っております。

## 2. 投資家の皆様への情報発信を拡充しました。

- 投資家の皆様と双方向で意見を取り交わすことを目的としたサイト「楽天バンガード HEADS」にて、「楽天・バンガード・ファンド」シリーズの情報を掲載すると共に、コラムの掲載や投資家の皆様から寄せられた疑問・質問に対する回答、運用シミュレーターの提供、等のサービスを引き続き実施しています。
- SNS を積極的に活用しています。  
当社公式 Twitter アカウント (<https://twitter.com/RakutenToushin>) のフォロー数が飛躍的に増加し、より多くの投資家の皆様に当社活動を知っていただけることとなりました。

## 3. フィデューシャリー・デューティーの実践に向け、以下の活動を行いました。

- コロナ禍のような未曾有の事態においても資産形成の継続性が途絶えないよう、BCP（事業継続計画）の一環として、リモート業務の環境を確立すると共に、ウォームスタンバイ設備を構える等、社内体制を整備しました。
- 効率化とリソースの最適化等を目的とした業務執行体制の見直しを実施し、既に移行しているレポート関連業務に加え、投信計理業務と法定開示関連業務について業務委託によるアウトソースを開始しました（2019年10月）。今後も継続的な業務見直し等を実施し、投資家利益に資するよう努めます。
- より良い商品を投資家の皆様に提供するべく、パッシブ運用室、ラップ運用室等を新設すると共にこれまでの組織体制の見直し・変更を行いました（2020年4月、6月）。
- 業務知識の充実や法令諸規則等の周知のための社内研修を実施しました。

以上